

私のキャンパスライフ

データサイエンス学部の先生方と学生の距離の近さ!

データサイエンス学部は教員と学生の距離が近いので気軽に話すことができ毎日が楽しいです!先生方は同じバスに乗った時に手を振ってくださったり「今年一番嬉しいことは皆さんが入学してくれたこと」と言ってくださったりと本当に優しいです!出張に行くとお土産を買ってきてくださったり(ベルギーやスウェーデンのチョコ、萩の月、饅頭などをいただきました)みんなで放課後集まって試験勉強をしていると質問ある人いない?と声をかけてくださるので安心して試験が受けられます!このように教員と学生との仲が非常に良いので毎日が充実しています。

私の受験エピソード

総合型選抜の面接での失敗

私は総合型選抜の面接でされる質問を想定し、自分なりの答えを暗記していたのですが、実際の面接で失敗してしまいました。想定していた質問をされた時、緊張から暗記していた文章を忘れてしまい、動揺からか、他の質問にも言葉に感情を込めることができず棒読みのような回答になってしまいました。面接官の先生方が「ゆっくり自分のペースで大丈夫ですよ」と声をかけてくださったので、落ち着けましたが、忘れた時は沈黙が続き、頭が真っ白になってしまいました。面接は暗記ではなくある程度話す内容を決めておき、つたなくても自分の言葉で話すことを心がけるとよいと思います。

私のキャンパスライフ

勉強も日常生活も実りあるものであふれています

高校生までの生活で中々勇気が出せずにできなかったことを、大学生になってからたくさんやっています。大学生になったらやりたかったオープンキャンパススタッフでは、京女のオープンキャンパスに来てくれた高校生や保護者の方に、どのように自分の学部や京女の魅力を伝えられるのか考えたり、意見を出し合ったりしています。大学のボランティア活動では、京女の学生がより良い大学生活を送るために楽しい企画などを先輩方と一緒に企画しています。また、日々の授業が充実しており、わからないことがあったら同じ学部の人と教え合ったり、一緒に勉強したりするのが楽しいです。

私の受験エピソード

メリハリのある生活を心がけていました

私は、家にいるとテレビやスマートフォンなどたくさんの誘惑があって勉強に身が入らなくなってしまうので、高校3年生の時は、毎日朝一番に教室に来て、一番最後に教室を出るくらい学校にいました。また、息抜きに友達とおしゃべりをしながら教室で夕食を食べたり、勉強を教え合ったりしていました。受験当日は、じっくり復習するほどの時間もないので、当時使っていた数学の問題集に付録でついてきた数Iから数IIIまでの重要な公式が載っている薄い公式集を見たり、化学の資料集や英語の単語帳を見返したり簡単な問題を解いたりして、とにかく焦らないようにしていました。